五木村議会だより
2013（平成25年）1月31日発行

題字：尾方　芳郎氏

やまめ

No.103

火の用心！

出初式に華を添えた幼年消防隊

もくじ

・開かれた議会を目指して …… 2
・議会議員の成果報酬廃止へ（12月定例会）…… 3
・地域再生は（一般質問）…… 4～8
・早期の着工「村道松尾野線」 …… 9
・失敗を一つの経験として …… 12

議長年頭挨拶

開かれた議会を目指して

五木村議会議長
岩本員功（かずのり）

村民の皆様方には、
希望に満ちた新しい年を
健やかにお迎えのことと
お慶び申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。

平成25年の年頭にあたり、議会を代表して一言、ご挨拶申し上げます。

昨年を振り返りますと7月12日に九州北部豪雨による災害が発生し、本村も大きな被害を受けました。いまだに村営住宅等で生活されている方々がおられる中ですが、被災された皆様方には、心よりお見舞い申し上げます。本村では大雨での人的被害がなかったことが幸いしました。改めて土砂災害の恐ろしさと砂防ダムの重要性、必要性を痛感したところです。

さて、議会を振り返りますと成果報酬制度で議論しその結果、制度の廃止を中心とした議員報酬等条例の一部改正を12月議会定例会で全会一致で、可決したところです。今後も議会改革の協議を進めながら皆様方の信頼を得るよう努めてまいります。

村政では再建にどう取り組んでいくかであります。基幹産業である農林業の振興、商工業の活性化、少子高齢化対策など本村の課題解決に向けて、ただ単に執行部への要望や追及を行うだけでなく、全議員で議論し、議会も具体的な策を模索しながら執行部に提案していく所存です。

長年の懸案であった頭地大橋も3月31日に開通します。大型バスの通行もスムーズになり、観光面でも大いに期待されるところです。

新たな年を迎え、議会としましても役割と責任の重さを自覚し、開かれた議会を目指すと共に新しい年が皆様方にとりまして素晴らしいものとなりますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

平成25年3月31日に開通する頭地大橋

議会議員の成果報酬 全会一致で廃止

平成24年第4回五木村議会定例会が平成24年12月12日から14日までの3日間開催。「承認案件1件」・「条例の全部改正案件1件」・「条例の一部改正案件1件」・「工事請負変更契約案件1件」・「補正予算案件6件」・「議員提案案件2件」・「追加提案1件」の合計13件を原案のとおり可決しました。また、一般質問では5人の議員が行政について質問しました。

《承　認》

●専決処分の承認を求めることについて[平成24年度一般会計補正予算(第5号)]

《条例の全部改正》

●五木村環境美化条例の全部改正

《条例の一部改正》

●五木村公共施設整備基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正

《工事請負変更契約》

●工事請負変更契約の締結

1 工事名……村道白滝線道路改良工事

2 契約の金額……当初　113、190、000円
変更　127、994、424円
増額　14、804、424円

3 契約の相手……球磨郡五木村甲5424番地3
株式会社　尾方組
代表取締役　尾方　成美

《議員提案》

●五木村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

●地球温暖化対策に関する「地方財政を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

《追加提案》

●工事請負契約の締結

1 契約の目的……村道九折瀬線道路改良工事

2 契約の金額……128、100、000円

3 契約の相手……球磨郡五木村甲5424番地3
株式会社　尾方組
代表取締役　尾方　成美

12月定例会　一般会計・特別会計補正予算

	補正額	予算総額
一般会計	△25万円	37億3,774万円
国民健康保険特別会計	△280万円	1億9,386万円
簡易水道事業特別会計	0万円	2,912万円
介護保険特別会計	△394万円	1億8,758万円
後期高齢者医療特別会計	△34万円	1,991万円
情報通信事業特別会計	36万円	2,871万円

一般会計補正予算の主なもの

総務費	地方バス運行等特別対策補助金	1,389万円
	頭地大橋開通プレイベント業務委託料及び助成金	250万円
民生費	電動カートリース料	△240万円
	集落内道路等整備助成金	△300万円
衛生費	AED設置費	△230万円
農林水産業費	農業振興補助金	△249万円
	林業振興補助金	△459万円
	再造林補助金	396万円
	村有林素材生産事業（主伐）委託料	△400万円
	村有林造成新植委託料	1,015万円
消防費	九折瀬地区災害応急工事費	△1,876万円
教育費	スクールバス委託料	306万円
	中学校水道漏水工事費	640万円
	頭地大橋開通記念家族ふれあい健康ウォーク実施委託料	200万円
災害復旧費	横手地区農業用施設災害復旧工事費	600万円
	大藪地区簡易給水施設災害復旧工事費	450万円
	八原農地災害復旧工事費	100万円

を 問 う ！

地域再生は

山本議員

雇用を増やし地域を守っていく

和田村長

山本議員　我国は、歴史上経験のない人口減少、超高齢社会を迎え２０５０年には生産年齢人口が現在の２分の１以下に減少し、１万人未満の小都市は人口が半減し、地域経済の衰退で地方財政がひっ迫するなか、本村の地域再生の考えは。

和田村長　将来的には８００人程度の人口になるのではないかというような予測であり、基本構想に則って、実現できるよう短期的には産業観光、長期的には林業の雇用を増やし、地域を守り努めていきたい。

質問　地域独自性や特徴重視、農業や伝統文化、活性化を地域全体が元気になる可能な仕組みの考えは。

村長　本地域は川辺川流域、特に山村文化の宝庫といわれており水資源、CO_2の削減にかかわる森林資源も有用なものがあり、地域が生き残っていくよう模索していきたい。

質問　平成24年度ふる里五木村づくり計画に村内地域を対象とした事業の展開、より以上に重視して取り組む考えは。

村長　24年度の施策目標は議会と共有し、より一層充実するよう努めたい。

●いじめ対策は

質問　これまでいじめ問題は原則として学校や自治体の教育委員会に任され、当時の平野博文文部科学大臣は国はいじめ問題へ踏み込み不足の面があり今後は積極的に関わっていくと強調された。本村の小中学校の現状を伺いたい。

深水教育長　五木村の現状ですけれども、幸いなことに学校の先生方、それから家庭、地域等も含めて非常にそういった面で努力していただいている。

質問　いじめ防止につなげるため、より以上に道徳教育を強化し、子どもが良好な人間関係を築けるように対話をおこない、教育委員会として指導をされているのか。

教育長　毎週１回児童生徒理解の日を設け、更に職員自身の研修を深め家庭、教育委員会専門機関との連携を図り、いじめ防止に取り組んでいる。

基本構想冊子

村づくり

財政の見通しと対策は

岡本 正議員

通常ペースであれば平成30年までは安定的にできる

和田村長

岡本議員　本村は、地方交付税、国庫支出金、県負担金等によって村の運営をしてきている。また、事業についても主に川辺川ダム建設計画に伴う「特定多目的ダム法や水源地域対策措置法」によって実施してきているが、これからどうするのか、財政の見通しと対策は。

和田村長　一括交付金、社会資本整備交付金、一方ではソフト事業の10億円、ハード事業の50億円、これの基金を運用することで五木村の財政補填をしていこうと国、県、村で三者合意をしており、通常ペースであれば平成30年までは安定的に運営できる。その間にどれだけハード、ソフトの整備を我々が進めて、30年以降に財政出動がないように工夫することが大事で、そのようにしたい。

質問　31年からが問題で、借金の返済、事業に伴う負担金、また一般会計から特別会計に繰り出している金も約1億円ある。これが繰り出せなくなると国保税、介護保険料、水道料等の引き上げにつながり、住民の負担が大きくなりはしないか、財政計画は立ててあるのか。

村長　できるだけ早く計画を策定して示したい。福祉の方では福祉基金を1億円程度積み立てており、国保税もあまり上げないように努めている。今、産業振興に一生懸命取り組んでおり、税収が増えてくると、増えた分を生活維持のためにカバーできる。当面は出す方はいかに節約するか、収益を上げる方はいかに収益を上げていただくか両面をにらみながら努めていく。

●産業振興について

質問　村長は循環型の林業を目指しており、村有林やきのこ園については一定の計画を持っているが総括したものでないので、村民も含めて協議を進めたいと言われていたが、その後どのように進んでいるか。

村長　今、村づくり協議会を設置して、その中で森林組合や県の指導も受けながら、どのような林業の在り方や雇用維持がいいのか協議している段階である。

質問　村の基幹産業が林業であれば、思いきって林業分野に投資すべきではないか、これから今まで育てた森林資源の活用だと思う。本村には広大な森林面積があり、特に国有林、県有林がたくさんあるので、国、県、村共同で、木、水、太陽エネルギー等、村にある資源を活用した事業計画を立てて地場産業を興す対策は取れないか。

村長　木材生産については、一定地域の協定を結んで施業している。一生懸命何かをやろうということで取り組んでいる。いずれにしても村内の資源を使った施策を進めることが大事だと思っている。

質問　村の再建は仕事場を作る以外にない。継続的に安心して働ける就業の場ができないと若い人は残れない。木に関する一連の産業、水、太陽エネルギーについてもたくさんある。川辺川ダム建設計画で何千人という人口の流出があっており、せめて2～300人程度の若者が継続的に安心して働けるように平成30年までに国、県、村で知恵をしぼって新規産業を興す対策を取っていただきたいができるか。

村長　県のエネルギー政策課、副知事、企画部長とも話し合いをしている段階である。大きな投資が必要な大型施設、これについては場所とか、そこで働く者とか協議をしていく必要があり、30年までにできるかどうか確約はできないが、それに向かって協議を行っていきたい。

森林組合小径木加工場（西谷地区）

を 問 う ！

五木ダム、国道445号の件で県との協議を

藤本議員

協議の場を作りたい

和田村長

●五木ダムについて

藤本議員　県は代替案も示さず水替トンネルの埋戻しに着手しており村長は知っていたのか。

和田村長　県から説明もなく把握していなかった。

質問　この工事はダム中止を意味する。村が要望したダムで一方的な行動を県に強く抗議する必要があるが。

村長　県から危険防止の為に埋戻しすると聞いた。五木ダムの問題はダム中止の反対集会で決議されたとおりの考えである。

質問　竹の川、横手、鶴は河床と護岸崩壊の状況で危険度が増しており村で調査し対策工事を県に求める必要があるが。

村長　現地を見て河床や護岸の状況で整備が必要な箇所を県に要望したい。

質問　ダム等の中止判断した知事や市町村長は辞めた後も責任があると聞くが、現知事、反対する市町村長に明確な責任を求める村長の考えは。

村長　現在責任の立場にある知事には当初の方針どおり強く求めている。

質問　県議会はダムは促進の考えであり県議会の方々に協力をお願いする協議の場を作る考えは。

村長　地元県議の方々の日程次第であるが協議の場は可能と思う。正月明けでも出来ると思う。

質問　地域住民の方々は不安な状況にあり、ダム問題の住民の考えを聞く場を作る必要があるが。

村長　我々だけで十分な説明も出来ない。県にもお願いし今年度工事等をふくめて説明を近い内に計画をしたい。

質問　対岸の工事用道路は村に移管されると聞くが、落石で危険な状況にある。落石防止工事等県に求めて安全が確認して引き取るべきと思うが。

村長　柵の手前と柵の先は所有者がちがい問題もある。県と国交省との話がどうなっているか五木ダム関連の問題を国交省と県・村で協議して行くことが必要である。

●445号について

質問　九折瀬神屋敷間の工事は以前簡単な説明を受けたが一歩も進んでいないが村長は着工のめどを聞いているのか。

村長　議会と上京時に国は一括交付金として交付しているとのことで、県がどう使うかとのことと、24年度調査はされていると伺っているが再三早い着工を申し上げている。

質問　当地区の山地崩壊で旧国道まで土砂が流出しており着工が遅れる。議会と執行部で県と協議が必要と思うが。

村長　用地の問題や地元の理解を得て、住民の意向を踏まえて設計され、後に我々や議会の皆さん方も説明を聞いて頂き意見を賜る機会をつくりたい。

質問　産業振興の面、観光の面、生活道路であり住民は早い着工と完成を求めており県に強く着工を求める考えは。

村長　早く着工し出来つつあることを見せることが大事であり、引き続き早期の着工を求めて行く。

未開通の国道445号（九折瀬地区内）

村づくり

災害避難の対応は

山下議員

早めの指示で対応したい

和田村長

山下議員　7月12日に発生した豪雨災害の被災地、阿蘇を人吉下球磨消防組合議会で視察したが、夜中に発生した災害で「避難勧告」「避難指示」を出しても暗いために避難が出来なかったため、23人の尊い人命が失われた、と聞いたが村長はどう思うか。

和田村長　五木村では土砂災害でも渓流災害の危険性が高いと思うので早めの避難を含めて対策をとりたい。

質問　危険箇所でも砂防関係の対策が必要と思うが、その対策はどうなっているのか。

村長　砂防でも急傾斜危険地域の対策工法を行っている。砂防と治山工事の区分けがあるが出来る工法で行っていきたい。

質問　阿蘇のように夜間、災害が発生する可能性もあるが、住民への対処は。

村長　避難指示・避難勧告を出すには非常に勇気がいるが、空振りを恐れず早めに指示を出し行いたい。

●「第3セクター」の運営は

質問　第3セクター「子守唄の里五木」の経営が厳しいと、報告を受けたが、何が一番の原因なのか。

村長　購買力が沸いてこないと消費動向が伸びない。その原因は不景気感があるために消費者心理として使うより貯めたいという方向にあるのではないか。また、魅力ある商品をどう作っていくのか検討、研究している段階。

質問　第3セクターの役割として村民への貢献度も大事だと思うがどうなのか。

村長　雇用対策と物を売る場所だけではなく、おいでになられた人が集う場所であり、り生産者、出荷者にどうお返しが出来、所得を増やすかが課題だと思う。

●基金の創出は

質問　五木村商工振興補助金があるがソフト事業に100万円、ハード事業100万円となっているが特殊事情への緩和策は出来ないのか。

村長　内容次第と思うが対応できないともいえない。それは、特別枠として協議することも必要かもしれない。

質問　40年以上もダム計画に振り回されてきているので、商工補助金に限らず村の判断で使える基金の創出を国、県に働きかけてはどうか。

村長　国、県に基金の創出を要望した経緯もあるが、政権も変わったので再度、要望して行きたい。

7.12 災害に遭った（九折瀬地区）

村づくりを問う！

村の目指す姿は

早田議員

基本構想を実践すること

和田村長

早田議員　村長が、描くグランドデザイン、村が目指す五木村の姿は。

和田村長　基本構想に基づき3年間の実施計画と毎年の予算付け、そしてこれを実践していくこと。

質問　基本構想の見直し1年ごとの検証は行っているのか。

村長　議論はしているが突き詰めて庁内で行っていないのは反省している。

質問　人材育成の分野で「学校教育」と「社会教育」そして、「家庭教育」をどうリンクさせるかが課題と思うが教育委員会との連携は。

村長　村としての構想がまだ十分出来ているとは思っていない。教育行政は教育委員会に任せていて人材育成と産業との結びつきは必要だと思っている。

質問　学校行事と村の行事の調整は出来ているのかまた、教育環境から住む環境をつくり人を誘致したらどうか。

村長　行事については気をつけて是非行いたい。交流事業などで取り組む必要性は感じているが計画はまだしていない。

質問　村独自の教育方針を立てシステムづくりを3年間とか試験的に取り組むことはどうなのか。

村長　湯前や水上では体力、スポーツを重視して教育に取り組んでいる。五木は特徴的な事は行ってないが、教育委員会では昨年から夏休みを利用して学力向上のための取り組みを行っている。

質問　熊本県は土曜教育の指針を示したいとしているが、村ではどうされるのか。

深水教育長　今の段階では球磨郡内で土曜授業を取り入れるという動きはありません。土曜、日曜を使った行事があるので効果的な方法で取り組みたい。

質問　土曜塾など、例えば公民館等を利用し、先生のOBや地域のお年寄りを活用して塾的な授業の補てんや社会教育などをしたらどうか。

教育長　今のところ夏休みでの実施計画は充実させようとしていますので、その他の時期については支援をしてもらう団体や個人を募り組織化していこうと来年度にかけて計画しています。

質問　教育理念または基本条例を条例化して村の目標として進めることも必要であると思うが条例の制定については。

村長　村には啓発的な条例があってもいいと思うので基本条例であるとか村民条例、議会基本条例などは必要であるとおもっている。

「夏休みのびのび教室」での川遊び

あれからどうなった？ 追跡

議会だより「やまめ」では委員会や一般質問の要旨を掲載していますが、今回は松尾野地区と頭地大橋の開通について追跡しました。

要望書「村道松尾野線道路整備について」

平成23年10月26日
●松尾野地区より松尾野線道路整備に関する要望書を議会で受付

平成23年12月議会定例会
●経済常任委員会へ調査を付託

平成24年1月25日
●要望者・経済常任委員会・建設課で現地を調査

平成24年3月議会定例会
●道路改良の必要性を報告（経済常任委員会）

平成24年8月議会臨時会
●100万円の概略設計費を計上し議決

平成24年9月
●概略設計業務委託を発注（平成24年12月完了）

松尾野線道路

今後について（建設課）

概略設計図をもとに松尾野地区に概要を説明し、ご意見を伺う。その後、実施設計業務を委託し、早期の着工を目指す。

3月31日開通　頭地大橋

頭地大橋の開通イベントはどうなっているのか。
平成23年6月定例会（早田議員）
→200万円の予算で検討中

開通イベントを長期的なものを行ってはどうか。
平成23年12月定例会（山下議員）
→単発的なものと長期的なものとを協議して詰めていきたい。

現況＝3月31日㈰に開通イベントその前にプレイベントとして、自転車（サイクルレース）バンジージャンプ、渡り初め式、ウォークラリーを企画している。

工事中の頭地大橋（国道側から望む）

三者合意及び災害復旧・防災を要望

10月30・31日の両日、国土交通省及び国会議員へ議会・村長で要望活動を行いました。

要望書

五木村は、川辺川ダム建設事業を前提とした村振興計画を進めておりました。しかしながら、平成２０年９月熊本県知事、平成２１年９月国土交通大臣それぞれからダム建設事業中止の表明がなされました。

苦渋の決断をしてダム建設に同意した五木村として、川辺川ダム建設及び関連事業を推進してほしい立場は変わらないものの、村の生活再建は急を要すること、当時前原大臣が約束したダム中止補償法案の制定も見通しがたたないことから、平成２３年６月、国土交通省、熊本県、五木村の三者にて五木村再生再建に係る協議を行い、一定の合意をみたところであります。

平成２４年度から合意に基づく事業に着手しており、平成３０年度を目標に村の振興を図ることと致しており、これらの確実な実施に、特段の配慮を賜りますよう下記のとおり要望致します。

併せて、その他の五木村の振興に資する事業への支援についてもご高配頂くようお願い致します。

また、平成２４年７月に熊本広域大水害に伴って村内各地で発生した災害に対し、発生直後から緊急災害対策派遣隊（TEC－FORCE）の派遣等、災害対応にご支援頂き、厚くお礼申し上げます。今後　この災害を教訓とした災害復旧事業の実施につきましても地域住民の安全安心のため格別のご高配を賜りますよう下記のとおり要望致します。

記

1．五木村再生再建に伴う三者合意の確実な実施

2．災害復旧事業の早期完成

3．災害に強い強靭な地域防災事業の実施（河川、砂防等）

五木村長　和田拓也

五木村議会議長　岩本員功

金子恭之衆議院議員への要望

国土交通省　菊川 滋技監への要望

シリーズ 五木村の宝（たから） Vol.7

＝頭地地区（西俣（にしまた））編）その②＝

平成25年冬の高野地区

昭和50年代の高野地区

坊主山の裾野をぐるりと西へ回りこむと、五木小川沿いに旧高野地区、川向う池の鶴地区、その上流に土会平、山ノ神、元井谷などの集落が点在していた。

現在、集落として残っているのは高野、土会平、元井谷のみである。旧池の鶴地区には、平成20年に頭地代替地へ移転するまで、五木中学校、人吉高校五木分校があった。その周辺には、村営住宅、教職員住宅などもあったが、頭地代替地へ移転し、学校だけが残されていたが、5年前に移転が終了し、更地となり今では、その後に作られた鹿解体所だけがある。また、高野地区においては、川辺川ダム建設に伴う移転の為の、代替地造成が、いち早く（昭和57年）、行われた所である。造成地完成後（昭和62年）、林業センター建設を皮切りに次々と移転が進み、今では23戸ほどの方々で集落を形成しておられ旧高野地区にあったお堂も同時に移転し、現在の地区集会室横に奉られ、年中行事も欠かさず勤めておられるそうだ。土会平地区も、高野地区の農地造成と同時期に土会平～元井谷線付け替え村道が出来たのを機に村道脇に宅地を造成され移転された。

現在は民家2戸、食品工場兼店舗1つを、県道25号、高野地区から対岸に望む事が出来る。旧土会平地区にもお堂が設けられていたが、盗難に遭った。高野地区より県道25号を上流へ上る事、数分、山ノ神地区がある。今でこそ人家は無いが、以前は数十戸の集落があったと伝え聞く、県道脇山手に小さな祠がある。更にそこから数分上った所が元井谷地区である。川辺川ダムが、建設されたら湛水（たんすい）する最終入り地予定となっていた。また、この地区は現在の行政区で云う所の、西地区への分岐点のような風情がある。下流（頭地）へは大地が開け、上流（西地区）へは切り立った山々が迫り、大きく湾曲した河川が、その昔であれば、来る者を拒みそうな雰囲気を漂わせている。また、元井谷地区からは、福寿草などで知られる仰鳥帽子山への登山道入り口にもなっているが、昨年夏の豪雨で現在は車での通行が出来なくなっている。

終わり

議会の動き（12月～2月）

12月6日	議会運営委員会
	町村議会議員セミナー
12月7日	球磨郡町村正副議長会
12月12日	平成24年第4回五木村議会定例会(～14日)
12月15日	人吉球磨広域行政組合議会運営委員会（早田議員）
12月20日	例月現金出納検査（岡本精監査委員）～21日
12月21日	広域行政組合議会定例会（早田・中村議員）
1月4日	平成25年五木村成人式
1月5日	平成25年五木村消防団出初式
1月8日	1月定例全員協議会
	広報委員会
1月9日	1月定例郡議長会議
1月16日	ダム対策特別委員会
	広報委員会
1月17日	全員協議会
1月23日	広報委員会
1月24日	例月現金出納検査（岡本精監査委員）～25日
1月28日	広報委員会
2月4日	八代・天草架橋建設促進総決起大会（議長、経済委員長）
2月6日	上京要望（～7日）
2月13日	2月定例郡議長会議
2月18日	全員協議会
2月19日	熊本県町村議会議長会第63回定期総会
2月20日	人吉球磨広域行政組合議会運営委員会（早田議員）
2月21日	例月現金出納検査（岡本監査委員）～22日
2月25日	平成24年度球磨郡町村議会議員研修会

新成人メッセージ
～成人式を迎えて～

竹の川地区
嶽坂（たけさか）　翔太郎（しょうたろう）さん

成人式を無事に終え、改めて社会人としての、実感がわきました。高校を卒業して、18歳で社会人として働きだしましたが、まだまだ未熟な部分も多く、社会人として足りない部分もたくさんあります。しかし、これからはよりいっそう身を引き締め、社会人として恥じることのないような人になれるよう努力していきたいと思います。

そして、私が生まれ育ったこの五木村のことをもっとよく知り、この五木で育ったことを誇りにもち、立派な大人になりたいです。

これから先もたくさん周りの方に迷惑をかけることもあると思いますが、失敗を一つの経験として生かしていきたいと思います。

平成25年五木村成人式（１月４日）　※下段の両端２人は恩師

編集後記

今年も、お正月の風物詩、日本の伝統的な行事である「どんどや」が、五木でも各地で行われました。新たな一年の無病息災を願う「どんどや」の光景を見ながら、五木の歴史を、そして昨年の水害を思い、今年こそ、五木村が平穏であるように、と願いたいものです。

県知事も、常に県民の安心・安全な暮らしづくりを語っておられます。「どんどや」の火を囲む人々のように、私たち議員も、安全に幸福に暮らせる村づくりのために10名が気持ちを合わせて取り組まなければと、年の初めに改めて思いました。

（T・N）

春を呼ぶ福寿草

次回の定例会は3月中旬の予定です。皆様の傍聴をお待ちしております。

発行　五木村議会
発行責任者　議長　岩本員功
編集　議会広報委員会
〒868-0201　熊本県球磨郡五木村甲2687-7
TEL（0966）37-1351